



写真：夏梅陸夫



シロヤマブキ
バラ科
絶滅危惧種 IB 類

西日本の一部で自生が見られる落葉小低木で、4月から5月にかけて、枝の先端に白い4花弁の花をひとつ付けます。果実は黒色で光沢があります。

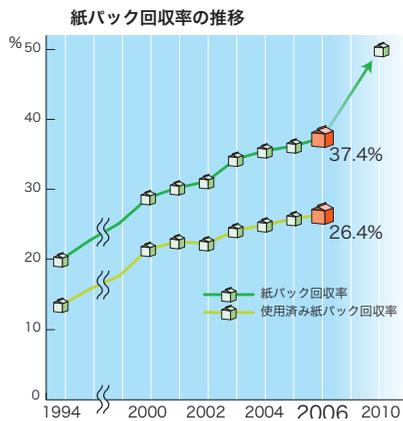
FEATURE

紙パックリサイクルの実態

2006年度の紙パック回収率が全国牛乳容器環境協議会（以下：容環協）より公表されました。容環協は、1995年から紙パックのリサイクルの実態に関する調査を開始し、その結果を公表しています。調査開始以来、リサイクル活動は着実に拡大し、紙パックの回収率は堅調な伸びを見せています。

2006年度の紙パック回収量（産業損紙・古紙*を含む）は96,400トン、回収率は37.4%（対前年1.2ポイント増）となり、家庭や学校などから出される使用済み紙パックの回収率は26.4%（対前年0.6ポイント増）に上昇しました。

これは、環境に対する消費者の意識の高まりや、容環協をはじめとした業界団体、製紙業界、リサイクル活動を推進するNPOの努力が堅実に実を結んだ成果と考えられます。2010年度の目標値50%達成に向け、今後も皆様の紙パックリサイクルを宜しく願っています。



* 産業損紙・古紙

紙パックメーカーや飲料メーカーにおいて発生する、飲料を詰める前に損紙となってしまう用紙や、使用せずに古紙として処理したもの。

Topics

新名称「NP-PAK」に変更

「牛乳パック」に代表される当社のゲブルトップカートンは、牛乳や乳飲料、ジュースなどの飲料用紙パックとして皆さまにおなじみの製品です。

長い間「PURE-PAK（ピュアパック）」の名称とトレードマークでご愛顧いただきましたが、昨年末より「NP-PAK（エヌピーパック）」に名称を変更いたしました。これに伴い、当環境情報誌の名称も「NP-PAK ism」に変更いたします。これからも、紙パックリサイクルのさらなる促進を願って「NP-PAK ism」を発行してまいりますので、引き続きご愛読くださいますようお願いいたします。

新しい表示マーク



紙パックはリサイクルの優等生

～森の恵みを大切に作る～

家庭や紙パック・飲料メーカー等から回収された紙パック（産業損紙・古紙を含む）は、古紙回収業者・古紙問屋等に集められ、運搬しやすいように圧縮されたペールの状態で、全国各地の再生紙メーカーに運ばれます。

再生紙メーカーでは、回収された紙パックから得られる、繊維が長く、太い良質なパルプを貴重な原料として、その他の回収古紙（上質古紙）などと共に再利用しています。

今回は、トイレットペーパーを生産する工程を見ていきましょう。まず、回収された紙パックは、パルパーというミキサーのような装置に投入され、もみほぐされ、表面のポリエチレンと紙繊維とを剥がれやすくします（浸漬槽に移送後、熟成させる工程もあります）。次に、スクリーンという網目構造の分離装置でポリエチレンが除去され、紙の原料となる繊維だけが再生パルプとして分離されます。紙パックは、表面のポリエチレンに印刷がされているため、ポリエチレンを剥がせば良質で真っ白なパルプが得られます。

こうして分離された再生パルプは、他のパルプ（その他の回収古紙パルプやバージンパルプ）と混ぜ合わされ、抄紙工程を経てトイレットペーパーになります。また、除去されたポリエチレンは、

自社工場での燃料や RPF の原料などに活用されています。

一般的に、回収された紙パックは他の回収古紙と混合して、トイレットペーパー以外にも、ティッシュペーパー、板紙、ノートやレターセット、ハガキ、油とり紙、紙ひも等様々な製品に生まれ変わります。

このように、紙パックは新鮮で、おいしい飲料を安全に消費者に届けた後も、有効に再利用されとてもエコな容器です。

紙パックリサイクルの輪は、飲み終わった紙パックを、洗って・開いて・乾かして、リサイクル、そして生まれ変わった再生品を使用して成り立ちます。みなさんも、循環型社会に参加しましょう！

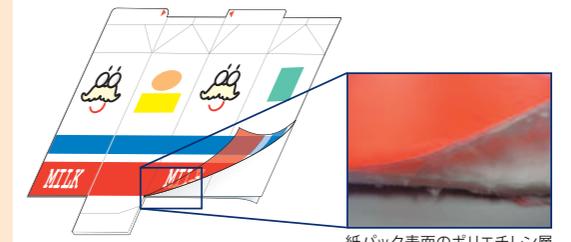
紙パック 調査隊

かんたんリサイクル

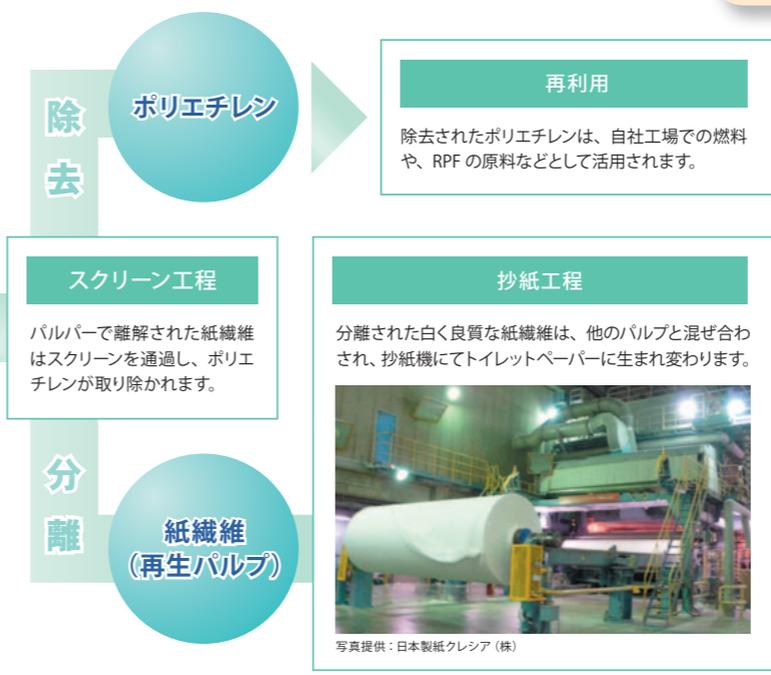
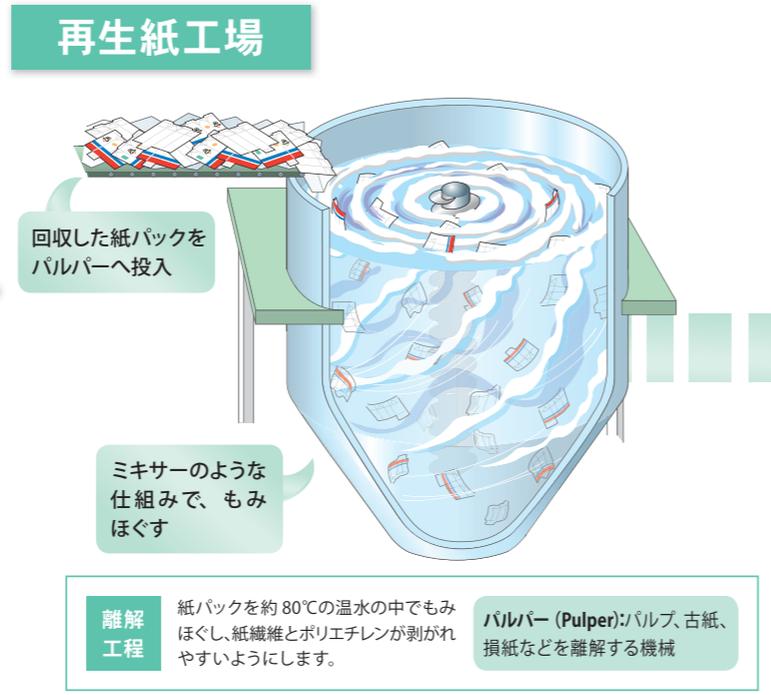



わしの弟子じゃ。よろしくね！

ビュア博士はお疲れのようだから、おいら、弟子の紙パックくんが担当するよ。紙パックはリサイクル優等生だって？なんでだ～？ふむふむ、顕微鏡で見ようかな。あれれ～印刷した部分だけ剥がれるぞ！紙に直接印刷する本や雑誌と違って、紙パックは表面のポリエチレン層だけに印刷されているから、剥がすだけできれいなパルプがリサイクルできるんだね。なるほどね。おいらも優等生になるように勉強しなくちゃ！



紙パック表面のポリエチレン層



再生品

回収された紙パックから、トイレットペーパーやティッシュペーパー、油とり紙、紙ひもなどの製品に生まれ変わります。



牛乳パック再利用マーク

市民から回収した紙パックを使用した製品という目印のためにつけられたマークで、配合率は定めていませんが、再生品利用促進を目指すマークです。

1992年に「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会」の全国大会で市民の投票によって制定され、NPO 法人「集めて使うリサイクル協会」が管理・運営しています。



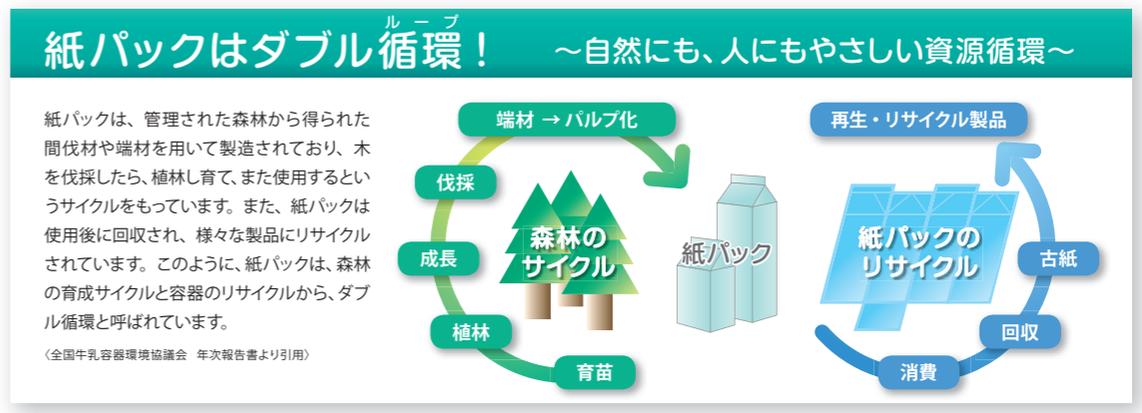
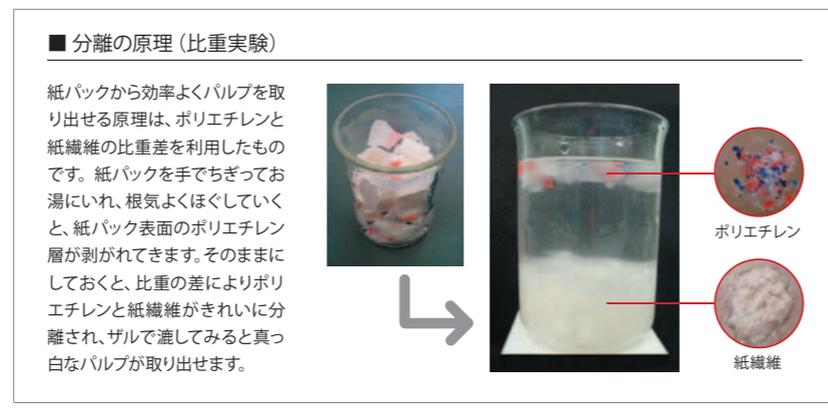
Vol.2
Vol.3
Vol.4,5
Vol.6
Vol.7
Vol.8



紙パックの一生⑦

古紙回収業者から再生紙メーカー・リサイクル製品まで

NP-PAKの生み出される各工程をお伝えしながら環境保護・再利用の取り組みをご紹介します。今回のテーマは、「回収・再生品」です。



手すきはがき作りに挑戦! 「牛乳パックリサイクル出前授業」



2008年2月15日に三重県南伊勢町立南島東小学校で、同22日には東京都西東京市立向台小学校で、全国パック連と容環協との共催による「牛乳パックリサイクル出前授業」が実施されました。

昨年より、主に小学4年生を対象に実施されてきた出前授業ですが、南島東小学校では1・2年生、向台小学校では3年生を対象に、紙パックの製造工程や紙パックの特徴、紙パックリサイクルや森林管理の話などを分かりやすく説明しました。



また、紙パックを使った手すきはがき作りにも挑戦！初めて体験する手すきに戸惑いながらも、子どもたちは一生懸命に取り組み、それぞれが世界に1枚だけのはがきを製作しました。この体験を通して、資源やモノを大切に作る気持ちを実感してもらえたのではないのでしょうか。



赤星たみこの Milk Break

リサイクルという言葉はすっかり定着して、日本語みたいになっています。アルミや古紙やガラスなどを集めて、それを新たな資源として再利用することで、お役所言葉などでは「再資源化する」と言いますが、なんだか固いですよね。

私はよくリサイクルを「利再来」と当て字で書きます。利益が再びやって来る、という意味です。どんなものでも一

度で捨てずに、再び利用すれば、利益がまたやって来るんです。いろんな困難もあって、なかなかうまくいかないところもあるのですが、江戸時代から日本はずっとリサイクルを自然にやっていたのですから、ちょっと視点を変えればうまく回ると、私は考えています。

利が再び来るような、そんなシステム作りが大切ですね。



■赤星たみこ：漫画家・エッセイスト。エコや家事に関する連載や著作多数。環境問題の講演会でも活躍中。

用語解説

「RPF」とは

RPF (Refuse Paper & Plastic Fuel) とは、マテリアルリサイクル(材料としてのリサイクル)が困難な古紙や廃プラスチックを原料とした高カロリーの固形燃料です。主に産業系廃棄物を原料とし、古紙と廃プラスチックの配合率を調整することで石炭やコークスと同等の熱量を発生させることができます。価格も石炭などに比べて低価格なうえ、石油由来燃料の代替燃料としてCO₂削減に貢献できるため、各種製造業のボイラーなどで燃料として使われています。



紙パックから分離されたポリエチレンを用いた RPF



日本紙パック 環境情報誌 NP-PAKism Vol.8 2008年8月発行

編集：日本紙パック株式会社 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2

TEL (03)6665-5555 (代表) FAX (03)3212-0605 e-mail npp-qa@nipponpaper-pak.co.jp URL <http://www.nipponpaper-pak.com>